



# フィグ・ヤーパン通信

第 34 号

FIGU-JAPAN BERICHT, Nr.34

発行日 2008 年 4 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン <http://jp.figu.org/>

## 平和瞑想のご案内

責任を自覚する人間は皆、地球人類の行く末に関する多くのテーマについて憂慮するのが普通です。その中で最も重要であり常に最も新しいテーマとして熟考され思索されるのは、平和です。ところが地球上の平和や戦争には、一個の人間は影響を及ぼし得ず、何らかの権力がそれを決定しているように見えます。このような状態で、権力者が地球人類を自己破壊の淵に追いやるのを誰が阻止できるのでしょうか。

しかしこの諦観的で運命的な考えこそが、権勢欲にあふれ懸命にすべてを我が物にしようとする権力に、門戸を開くものとなるのです。もっとも平和は、デモによって勝ち取ることはできません。というのも、各国間の連帯感はもとより、人間の人類としての連帯意識も強化されないことには、平和の実現は不可能だからです。世界平和に不可欠のこの連帯意識は、一人一人の人間の心の内で深められ、地球上の一人一人の人間に向けて発せられなければなりません。すべての人間は同じ創造の法則に組み込まれ、創造によって与えられた同じ権利を持つという意識は、言葉で言い表されるものではありません。それは、内的平和と内的認識からのみ生まれ育つものだからです。すべての人間は共通の目的を目指し、その達成にはすべての人間が重要であるという内的認識から発したのだからです。平和への努力はどのようなものであっても一人一人の人間がなすべきことですが、個々の人間、そして人類全体が、平和へ

の努力を支持および助成することは可能です。それには、地球の人間と地球外の人間が共に毎月 6 回行う平和瞑想が役立ちます。

平和瞑想に参加するには、所定の規則と所定の瞑想時間を厳重に守る必要があります。平和瞑想は毎月第 1 と第 3 の週末に実施します。ここで、第 1 の週末とは、第 1 土曜日が含まれる土、日のことです（1 日が日曜日の月は、7 日、8 日になります）。

土曜日 中部ヨーロッパ標準時 18 時 30 分

(日本時間 日曜日 2 時 30 分)

中部ヨーロッパ標準時 20 時 00 分

(日本時間 日曜日 4 時 00 分)

日曜日 中部ヨーロッパ標準時 20 時 00 分

(日本時間 月曜日 4 時 00 分)

中部ヨーロッパ標準時圏外の諸国では、これと同時刻に相当する現地時間に瞑想を行います。平和瞑想の時間は正確に 20 分間とします。

記載した時刻はすべて正しく誠実に守らなければなりません。原則として、瞑想開始が基準より遅いよりも数秒早い方がよいことを銘記してください。瞑想の終了は例えば電子目覚まし時計のピーツという音など、弱音化した音響信号を使って通知します。セミヤーゼ・シルバー・スター・センター以外で平和瞑想に参加する人々はすべて、小型ピラミッドを使用することによってセンターの力の中心と結合されます。

国内あるいは国外のどこで平和瞑想に参加するかは重要ではありません。重要なのは、所定の開始時刻を厳守すること、適切な瞑想ピラミッドを使用すること、そして平和瞑想のための言辞を用いることだけです。平和瞑想のためには、静かで邪魔されない、できる限り騒音の少ない場所を選ぶのが有効です。ピラミッドのサイズに応じて、テーブルの上か床の上に置きます。磁石を用いて、ピラミッドの底面の1角が正しく北を指すように設置します。携帯用ピラミッドの内部に結晶が取り付けられている場合、これに触れてはいけません。結晶は力を発揮するのを強化する機能を持っていますが、ピラミッドのサイズが不十分な場合のみ必要であり、これを使うことで地球のセンターピラミッドとの振動的な直接接続が得られます。

平和瞑想に参加する場合は、参加者数に適した瞑想姿勢をとり、ピラミッドの垂直の棒から最低50センチメートルの距離を保ちます。瞑想を開始する少し前に隣に座る人の手を握って円陣を作ります。この円陣は瞑想の途中で切断してはなりません。

平和瞑想を行っている間は、参加者は絶対静粛を保ち、目を閉じて小声で瞑想の文言を唱えます。瞑想中には瞑想に直接関与すること以外を考慮してはなりません（無関係な事を考えてはなりません）が、これはかなりの修練の後で初めて可能となることで

す。文言を唱える速度は瞑想者がそれぞれ自分の判断で決め、他の参加者を顧慮する必要はありません。

平和瞑想の文言は古代リラ語に由来しており、古く昔から平和を保つため、あるいは取り戻すためのものとして用いられてきました。説明された方法に従い、瞑想時間やその他の規則を厳密に守ることによってのみ、この効力は発現します。説明された方法に従った場合のみ、平和のインパルスは地球人に必要とする変化を誘発できます。特別な、非常に古い規定に基づき、すべての地球人はこの平和のインパルスに感応でき、この種の平和のインパルスのみを受け入れて利用できます。またそれによって初めて平和の成果が現れるのです。

平和瞑想に重要な文言を以下に示します。

Salome gam nan ben Urda - gan njber asala Hesperona.

(サーロメ ガム ナーン ベン ウールダ  
ガン ニーバー アサーラ ヘスポローナ)

その意味は以下のとおりです。

地上とすべての被造物に平和がもたらされますように。

古代リラ語の文章で下線が引かれた文字は強調し、長く発音します（例えば Salome という語の下線が引かれた a は、ドイツ語単語の Saal と同様の発音となります）。

### 瞑想用のピラミッドを発売します

日本で瞑想を実践される方を対象に、瞑想用ピラミッドを発売します。このピラミッドは、FIGUスイスの許可を得て、フィグ・ヤーパンが国内で製造したものです。

ピラミッドはすべて手作りで製作されているため、1ヶ月に5個位しか入荷しません。今回は先着20名様まで数量限定で販売いたします。注文いただいてからお届けするまでに、1ヶ月程度のお時間をいただきます。なお、お一人様で複数ご購入されることはご遠慮ください。

注文が多い場合はご入金いただいてからお届けまで最大4ヶ月程度かかる場合がありますので、トラブル防止のため、お急ぎの方は注文をご遠慮願います。発送は先着順といたします。



瞑想用携帯ピラミッド

銅製 高さ23cm・幅15cm  
重量：450g  
平和瞑想に関するDVD  
および取扱説明書付き  
定価：28,000円（送料・  
税込み）

ピラミッドの入荷状況は、本誌「フィグ・ヤーパン通信」にて随時お知らせする予定です。

## Q&A 質問と回答

### □読者の質問

「超感覚的」という概念は本来何を意味しているのですか。それは正確にどのようなものであり、どんな働きをするのですか。(前号からの続き)

R. シュトレスラー (スイス)

### □ビリーの回答

この質問に対する回答はかなり広範なものになる。というのも全体を簡単に数語で片付けることはできないからだ。あなたの関心を満たすために霊の教えから教材の一部を引用しよう。そこでは次のように説明されている。(前号からの続き)

#### 超感覚的なもの、微細物質感覚、生気力

もう1つの事実は、生きてると死んでるとにかかわらず、すべての肉体または有機物質は、多様な細胞からなる固有の光源を持っていて、微細物質感覚的もしくは生氣的な光を生気エネルギーと一緒に放射するということである。なぜなら、生きてるすべての細胞はごく少量の光量子もしくは生物フォトンに紫外領域で発散しているからである。このような放射、発散もしくはオーラは、誰でも感受によって知覚でき、さらにある程度鋭敏ならば目で見ることもできる。遺憾にも狂信的な秘教徒やインチキな「透視能力者」たちはこれをさんざん悪用して、人間のオーラを見ることができると主張している。しかし本当にそれができるのは、松果腺の機能が非常に発達した人間だけである。だがそのような能力を備えた人間は稀であるため、それら「能力者」の大部分が、虚言や欺瞞や詐欺を弄し、あるいはいかさま行為や営利欲に走って悪事を働き、同胞を惑わしていることは容易にわかるのである。

現代において、千里眼や読心術は重大な出来事あるいはトラウマ的な体験や事件によって起きる。たとえば重病に見舞われたり、愛する人間を失ったりすることにより、また身体の障害や破局、恐ろしい体験や重度の不幸などによって、人間は再び自分の内的世界と向き合うのである。残念ながら現代の人間は思慮なく日常生活に埋没しており、自分自身

の真の内的生命および外的生命と向き合うことがない。もしそうしたならば人間は松果腺の活動や能力を刺激して、感受もしくは微細物質感覚による知覚を、たとえば千里眼や読心術、さらには本来のテレパシー、意識的に制御された思念伝達、あるいは意識的な思念受容などに利用できるであろう。これには喜び、憎しみ、病氣、誠実、不誠実、悲しみ、嘘などを感受によって知覚することも含まれる。しかし上に述べた重大な出来事と言う意味では、それらは常に人格のある損傷の上に成り立っている。しかし通常はこのようなことはない。というのも千里眼、読心術、千里耳、本来のテレパシー、テレポーテーション、空中浮遊、テレキネシスなどの能力はすべて、理性と悟性の豊かな人間ならば、重大な出来事を体験しなくても適切な瞑想修練を続けることによって獲得できるからである。それゆえ単なる読心も、本来のテレパシーも、そして意識もしくは思念・感情、松果腺に基づくその他すべての形態も、人間にとって意識的に身に付けることができる。しかしそのためにはコントロールされた精神衛生と、たゆまぬ瞑想の努力が必要である。

臨死体験に関しても、微細物質感覚は重要な役割を果たす。なぜなら死の過程により純粋な合理的理性は遮断され、第7の感覚すなわち感受能力に相応の場所が与えられることによって、微細物質感覚に関して、普通は実際の生活では合理的理性の状態によって抑圧されている知覚能力が拡大するからである。それによって人間に微細物質感覚の世界への窓が開け放たれる。その世界は、粗大物質感覚、すなわち視覚、触覚、嗅覚、聴覚および味覚によって知覚され得る一切のものははるかに超え出ている。微細物質感覚的なものを感受感覚によって捉えるまでに知覚能力が高められることによって、たとえば千里眼が臨死体験として現れて、死にかけている人間が高い場所から(自分の体の上や室内を浮遊して)自分自身を観察したり、自分の周りに起きていることや話されていること、人々が何を持っているか、死人の部屋や隣の部屋には何があるかなどを見たりすることができるのである。臨死体験は読心術の手引ともなり、周りの人物や遠くにいる人物の思念が微細物質感覚に基づいて知覚される。これは特に脳の活動がほとんど停止した瀕死の状態で起こる。そ

れは死が訪れる状態であり、その時脳は日常生活では抑圧されている秘められた能力を人間に開くのである。

したがって人間の脳も、虫けらを含む一切の動物の脳も、送信器と受信器にたとえることができる。有機体の脳はすべて微細物質感覚のエネルギーと力および作用を送信したり、受信したりするからである。このような微細物質感覚の電磁振動およびそのエネルギーと力は、一切の動物だけでなく、数十億の人間から出ており、あらゆる空間およびエーテルを通過して振動している。もし人間がその知覚を意識的にこの生気振動に適応させたならば、非常に多くの情報を受け取ることができる。しかしそこから知覚をそらせたなら、この第7の感覚すなわち感受能力の空間で自分の脇を電光石火のように通り過ぎる情報、周囲の至るところに無数に存在している情報を知覚することはもはやない。人間（および一切の動物）の脳の無数の情報はどこでも絶えず作用しているが、これは松果腺が萎縮した人間には知覚できない。なぜならば人間は単なる合理的悟性に支配されて微細物質感覚的なものを駆逐したからである。実際、宇宙全体においてすべては創造的自然の情報の上に築かれており、いわゆる偶然などという実在しないものやカオスから生まれたものは何もない。物質も含めすべてのものが情報によって構成されているのである。まことに一切のものは情報によって規定された秩序を持っており、その秩序は因果律もしくは原因と結果の法則によって体現されている。これは人間（など）の思念と感情も同様であり、あたかも原子のように空間と時間のなかを自由に動いている。それゆえ、ショックによって、あるいは病気や死、事故や恐ろしい出来事などの結果、脳が知覚能力のある一部を粗大物質感覚的なものに対して遮断すると、脳は微細物質感覚の領域にある情報を知覚できるようになる。これらの情報は次に意識に到達するが、普段は粗大物質感覚によって覆い隠されている。微細物質感覚が働くようになるためには、最初に「意識センサー」もしくは「意識の触覚」の因子が脳を離れなければならない、というのではない。なぜなら、最初に合理的な悟性を遮断して、微細物質感覚が優位に立つことにより、意識が活発になってその触覚もしくはセンサーを送り出すからで

ある。これらの触覚もしくはセンサーは、肉体の外で微細物質感覚によって知覚することができる。このような意識の触覚もしくはセンサーは古来、意識から出る銀の糸と呼ばれている。

人間の脳を送信器と受信器のように作用させるためには、きわめて特定の前提がなければならない。物質的世界が粗大物質によって実在し、また現実的であることは言うまでもないが、それにもかかわらず人間の意識に何らかの形で幻覚を生じさせる。たとえば1人の人間がある色を見るか、ある音を聞くなどして、それがこの人間の感覚によって特定のものとして知覚または把握されても、同じ色や音が他の人間や一切の動物にまったく異なるものとして知覚され把握されることがある。極端に言えば、ある者には調和しているように受け取られるものが、他の者には反感を起させることがある。全体的に見れば、このことはあらゆる個々の原子にも、最上の原子レベルよりはるか下方で素粒子として存在しているすべての形態にも当てはまる。実際、原子は99.9999パーセントが真空からなり、原子核自体は物理学的な意味では純粋な無にほかならないとは言え、原子は固体物質の最小単位ではない。もし我々の世界に存在するすべての原子を真空のない固体物質に圧縮できたならば、地球はスズメの卵にも満たない大きさの球体になるだろう。物理学によって証明されているように、原子の状態は絶えず変化する。なぜなら原子は不変の実体を持っていないからである。というのも電子と陽子が絶えず変化して、ある時は粒子になったかと思うと、またある時は波になるからである。しかしこのようなものは固体物質ではなく、情報、エネルギー、そして力にほかならない。これはまたいかにも不可能なことのようと思われる。たとえば量子が、同時に異なる場所に存在できることの理由でもある。そして事実上、宇宙の目に見えない根本要素とすべての生命は、他のすべての根本要素と生命実在について知っており、これらは空間と時間の限界の彼方で情報を交換しているのである（ビリー著『宇宙に実在する生命』（FIGU水瓶座時代出版、1978年）189ページ以下「すべての生命は隣の生命について知っている」参照）。これについて『宇宙に実在する生命』では、次のように書かれている。「人間は、隣の生命が実在すること

を知っている。人間は同胞および全人類の生命について知っている。人間はまたすべての動物相と植物相の生命、したがって創造、すなわち宇宙意識それ自体の生命のことも知っている。さらに人間は惑星と恒星、小宇宙および全宇宙の生命、そして微細物質と粗大物質の生命も知っている。たとえ種々の人間の理解力が互いに大きくかけ離れ、あらゆる事物の理解が極端に異なっていようとも、そうなのである。それにもかかわらず、人間はおよそあらゆる事物の生命の存在を認知することにおいて一致している。人間がすべての生命とあらゆる事物の存在を知っているように、これは他のどんな生命体にも、そしてまた実在する生命体のどんな細胞にとっても同様である。だからといって、他の物質に関する物質の知識は存在しないということではない。なぜなら他の物質とすべての生き物の実在および生命に関す

る同じ知識は、どんなに小さい電子や中性子にも、どんな分子や原子、したがってクオークにも存在しているからである。それがまだ粗大物質であるか、あるいはすでに微細物質となり、クオークレベルのはるか下方に実在しているかには、まったく関係ない。

創造自体が宇宙および宇宙意識として、すべての事物、生命体、元素、原子および分子の生命、そしてその他の粗大物質的および微細物質的な形態の生命について知っているように、この知識はあらゆる事物のなかにも、あらゆる生命体、あらゆる元素、あらゆる昆虫、ウィルスおよびバチルス、あらゆる原子、あらゆる分子、これよりはるかに小さいすべてのもののなかにも、そして物質的な領域にも微細物質的な領域にも存在するのである。」

(次号に続く)

## — UFO 地球外からやってきた宇宙船 —

### プレアデス／プレヤール人

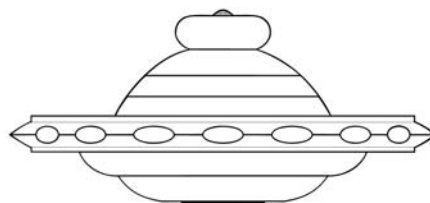
プレアデス人は自分のことをそう呼んでいるが、これは地球人に対してだけである。というのも彼らの本当の名前はプレヤール人だからである。つまり彼らの故郷の惑星系と同じ名前である。しかし彼らの故郷の惑星系はプレアデス系の向こう側で、我々の時空構造からほんの一瞬間ずれた別の時空構造にある。彼らの時空水準に到達するには、プレアデス星団の太陽の付近に人工的に作られた次元ゲートを通る。

撮影日：1976年4月14日

撮影時刻：16：15

場所：シュメールビュール・マイヴィンケル／ベッツヴィル ベーレツヴィル

飛行物体：写真番号 248 の部分を拡大。デモンストラーション飛行のあと、セミヤーゼのビームシップはスイス空軍のジェット戦闘機（ミラージュ）に追跡された。



ビームシップ4型

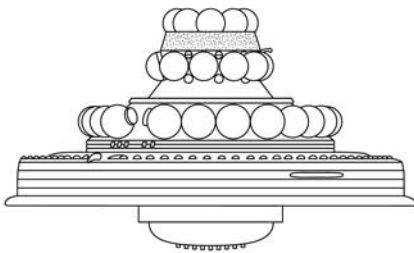


撮影日：1981年8月2日

撮影時刻：02：20

場所：アルトマットSZ

飛行物体：ローテントウムルムに向かう幹線道路で自動車のすぐ後方に浮かんでいる直径7メートルのシップ。左上に見えるのはものすごい速度で飛ぶテレメーターディスクの飛行軌跡。



ビームシップ5型

## プレアデス星団

セミヤーゼの報告によれば、牡牛座にある散開星団のプレアデス星団は、約254種類の天体からなる。地球外生命体は地球からプレアデス星団までの距離を約500光年としているが、地球の天文学者の計算と平均50光年の開きがある。

500光年は距離にすると5050兆キロメートル＝5,050,000,000,000,000キロメートルに相当する。プレアデス星団は若い星系で、生物はまったく住んでおらず、自ら生命を育むことができるようになるにはまだ若すぎる。



(出典：UF0s Raumschiffe von fremden Welten)

## ビームシップと宇宙船の推進

最初に言っておかなければならないが、宇宙船とビームシップは同じものではない。これについて地球外生命体は次のような区別をしている。宇宙船は到達距離がほぼ無限の大宇宙旅行に適した大型船であるのに対して、ビームシップは到着距離が限られ、惑星間の交通や短距離の宇宙飛行に用いられる小型の飛行体である。

地球外生命体の報告によると、宇宙全体において宇宙飛行能力を持った数多くの人種の間では、原始的なピストンエンジンに始まり、回転エンジン、ロケットエンジンから危険な核エネルギーエンジン、同様に危険なプラズマエンジン（これが何であるか私はまったく知らないが）に至るまで、無数の種類の推進原理が使われている。これらの高度に発達した推進装置は、太陽エネルギーや惑星エネルギー、電磁気や重力、そしてまた宇宙放射線、さらに光粒子およびタキオンを応用している。このうち光粒子およびタキオンは、プレヤール星団の住人によって一部まだ使用されている。なぜなら、彼らの報告によると、光速に達するまでは光放射推進を使い、光速を超えると何よりもタキオン推進を使用するからである。それが正確にどのようなものであるか、私は知らない。というのも私は技術や物理に関する限りまったくの素人であり、これらの事柄に関する理解力が乏しいからである。

## フィグ・ヤーパンからのお知らせ

### □ 瞑想用携帯ピラミッドについて □

大変長らくお待たせしましたが、本誌巻頭でご紹介申し上げましたとおり、フィグ・ヤーパンでは、瞑想用の携帯ピラミッドの発売を開始しました。このピラミッドは、FIGUスイスの許可を得て、フィグ・ヤーパンが国内で製造販売するものです。形状が複雑な銅製のピラミッドは量産が難しく、すべて手作りで生産されています。1ヶ月に5個程度しか製造することができないため、お届けするまでに数ヶ月の日数を要する場合があります。こうした事情をご理解いただいた上でお申し込みくださいますようお願いいたします。今回の販売個数は、20個限定となります。トラブル防止のため、お急ぎの方は今回販売分のご注文につきましてはご遠慮くださいますよう、お願い申し上げます。なお、ピラミッドは継続的に生産いたしますので、在庫状況は3ヶ月毎に発行される本誌『フィグ・ヤーパン通信』にて随時お知らせする予定です。

### □ 新風舎の倒産について □

すでにマスコミによる報道等によってご存知の方もいらっしゃるかと存じますが、フィグ・ヤーパンによる『わずかばかりの知識と知覚そして知恵(2004年7月刊)』を出版、販売していた新風舎が経営破綻し、2008年1月に民事再生法の適用を申請して事実上倒産しました。このため、『わずかばかりの知識と知覚そして知恵』については、現在一般書店での入手が困難になっています。フィグ・ヤーパンでは、当面の事態に対処するため、急遽本書を200冊仕入れ、限定で販売することにしました。なお、『わずかばかりの知識と知覚そして知恵』については、今後第二版の準備作業を進め、水瓶座時代出版より再版する予定です。

### □ これから出る本 □

フィグ・ヤーパンでは、年内の出版に向けて、『アラハト・アテルザータ』『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(5)』『宇宙の深遠より』の3冊について、校正作業を進めています。

この他、小冊子類、時事的な記事の翻訳について

もできるだけ進めたい所存です。FIGUスイスからの最新かつ重要な情報は、『フィグ・ヤーパン通信』やホームページを通じて、順次ご紹介する予定です。フィグ・ヤーパンの今後の活動に、どうぞご期待ください。

### □ 訂正 □

#### 『心』

誤) 霊科の病棟か霊病院に入る (199 ページ)

正) 精神科の病棟か精神病院に入る

#### 『瞑想入門』

誤) 350 億人の宇宙の人間 (201 ページ)

正) 35 億人の宇宙の人間

#### 『プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)』

誤) ビリー：…この二つはまったく同じもののだと思っ  
ているが、… (214 ページ)

正) ビリー：…この二つはまったく同じものではないと思っ  
ているが、…

誤) セミヤーゼ：はい、魂と霊は二つの異なる概念では  
ありません。一つの内容すなわち霊を、二つの異なる価値に基  
づく言葉で表現しているのです。(214 ページ)

正) セミヤーゼ：確かに、魂と霊はある一つの要素、すな  
わち霊に対する二つの異なる概念では  
ありません。それらは、二つの異なる価値に基  
づく言葉で表現しているのです。

### □ 住所変更された方はご一報ください □

新しい年度が始まるこの季節には、住所を変更される読者の方が毎年多くいらっしゃいます。お引越しの際には、フィグ・ヤーパンにも、住所変更のご連絡をお知らせください。

住所変更のお知らせは、FAX 042 (637) 1524、電子メール info@jp.figu.org、あるいは葉書にて承ります。

なお、『フィグ・ヤーパン通信』の購読停止をご希望の際にも、お手数ですがご一報くださいますようお願いいたします。

## 出版物のご案内

### ■ プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(1)

価格 2,000 円 (税込 送料別 375 グラム)

### ■ プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(2)

価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)

### ■ プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(3)

価格 2,000 円 (税込 送料別 335 グラム)

### ■ プレアデス／プレヤール人とのコンタクト記録(4)

価格 2,000 円 (税込 送料別 430 グラム)

### ■ 心

価格 2,000 円 (税込 送料別 440 グラム)

### ■ 瞑想入門

価格 3,200 円 (税込 送料別 815 グラム)

### ■ わずかばかりの知識と知覚そして知恵(新風舎刊)

価格 3,150 円 (税込 送料別 870 グラム)

### ■ 生命の哲学

価格 1,000 円 (税込 送料別 150 グラム)

### ■ 日本語版 水瓶座時代の声

価格 各 1,000 円 (税込)

83/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)

83/2 号 (特集) (送料別 105 グラム)

87/1 号 (特集) (送料別 140 グラム)

91/1 号 (特集) (送料別 135 グラム)

### ■ 第 235 回会見

価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■ 霊と肉体における生

価格 500 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■ ビリーの少年時代の著作

価格 500 円 (税込 送料別 95 グラム)

### ■ 預言者エレミヤとエリヤの予告

価格 400 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■ エノクの預言

価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)

### ■ 『瞑想入門』の手引き

価格 300 円 (税込 送料別 70 グラム)

### ■ 地球に平和あれ

価格 300 円 (税込 送料別 55 グラム)

### ■ FIGUの原則あるいは人間の原則

価格 300 円 (税込 送料別 40 グラム)

### ■ パートナーシップ (男女間の協力関係)

価格 200 円 (税込 送料別 40 グラム)

※このページに掲載した以外にも多数の書籍があります。ホームページ等をご覧いただくか、フィグ・ヤーパンまでお問い合わせください。

#### □ 書籍のご注文について □

すべての書籍・ビデオ類のご注文は、郵便振替にて承っております。ご希望の書籍・ビデオ代金に以下の郵便料金を加えた金額を、お近くの郵便局から下記フィグ・ヤーパンの口座宛にお振込みください。なお、現金書留および切手同封による直接のお申し込みはご遠慮ください。

#### □ 郵便料金表 □

50 グラムまで 120 円    500 グラムまで 290 円  
100 グラムまで 140 円    1000 グラムまで 340 円  
150 グラムまで 180 円    2000 グラムまで 450 円  
250 グラムまで 210 円    3000 グラムまで 590 円

※4,000 円以上お買い上げの場合、郵送料は無料です。

#### □ 振込用紙の記入欄 □

口座番号：00160-4-655758

加入者名：FIGU-JAPAN

(アルファベットで記入して下さい)

金額：送料を含めた合計金額

払込人：あなたの住所、氏名、電話番号

通信欄：購入する書籍名と冊数

#### フィグ・ヤーパン通信 第 34 号 (無料)

発行日 2008 年 4 月 1 日

発行 フィグ・ヤーパン (FIGU-JAPAN)

住所 〒192-0916

東京都八王子市みなみ野 3-11-2-305

電話 042(635)3741

FAX 042(637)1524

URL <http://jp.figu.org/>

E-mail [info@jp.figu.org](mailto:info@jp.figu.org)

郵便振替 00160-4-655758

加入者名 FIGU-JAPAN

本書の全部または一部を無断で複製複製することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。本書からの複製を希望される場合は、フィグ・ヤーパンにご連絡ください。

Copyright (c) 2008 by FIGU-JAPAN. All rights reserved.